

◇岡崎・六ツ美南部小にレーキ寄付 名古屋市中区の不動産会社「スマーチ」と十六銀行岡崎支店は29日、同行の寄付型私募債を利用して岡崎市六ツ美南部小学校にグラウンド整備用具「レーキ」4連を贈った写真。

スマーチの鳥居儀彰社長と十六銀行の吉村文孝岡崎支店長が六ツ美南部小を訪れ、岩瀬竜弥校長に目録とレーキを手渡した。鳥居社長は「私の母校でもあり、生徒たちの学校生活で役に立てばうれしい」と話した。

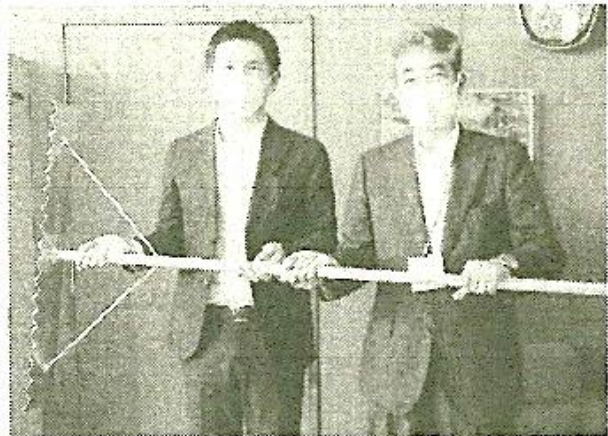


中日新聞 7月30日(金)

西三河版に掲載

母校にレーキを寄贈

sumarchと 十六銀行岡崎支店 六ツ美南部小へ



不動産流通事業などを手掛ける会社「sumarch」（名古屋市中区、鳥居儀彰社長）と十六銀行岡崎支店が二十九日、岡崎市六ツ美南部小学校にレ

ーキ（土をならす道具）四本（五万円相当）を寄贈した。同社が四月二十六日に発行した私募債（長期資金調達のために少

寄贈品のレーキを持つ鳥居社長（左）と岩瀬校長（右）と岡崎市六ツ美南部小学校で

数の特定投資家に発行する債券）を引き受けた十六銀行が、手数料の一部（債券発行額の0・1%相当）を、同社指定の同校に物品寄贈した。私募債発行には一定の基準があり、充足するのは優良企業とされる。同校の卒業生でもある鳥居社長は「このような形で母校の助けになることができうれ

しく思う」と笑顔を見せ、岩瀬竜弥校長は「ソフトボール部のグラウンドや運動場の整備に活用させていただけ。子どもたちのためになる寄贈は大変ありがたい」と感謝の意を表した。

東海愛知新聞

7月30日(金)

に掲載